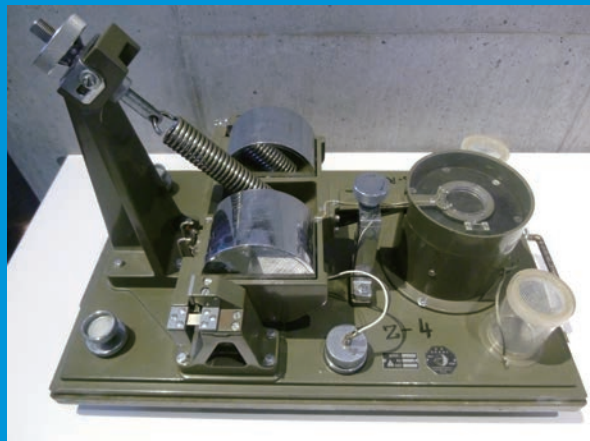
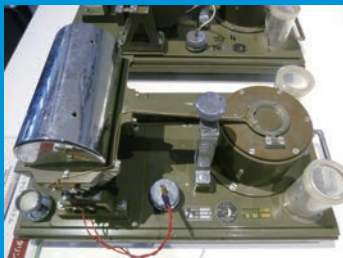


今月の展示 Pick Up!

→>> こんげつの てんじ びっく あっぶ

2014年3月号

今月のテーマは、
「地震計」
です。



今月は「地震計」を紹介するよ！
紹介してくれるのは、金尾 政紀（かなお まさき）さんです。

この地震計は、「萩原式電磁式地震計（HES）」という名前で、1959年の第3次隊から現在までずっと、南極の昭和基地で観測を続けています。国際地球観測年（IGY：1957-58）のロゴマークもついていますよ。当時は光学式のフィルムに、地震による動きを記録していました。半世紀以上の長い年月にわたり、世界中で起こる地震をとらえて国際センターへ毎年報告しています。この地震計のデータは、南極の側から地球の中身をしらべたり、地球の防災や環境変化の研究に役立っています。



金尾さんはどんなお仕事をしているのですか？

南極や北極で起こる地震のしくみや、地震の波をつかって地球全体や南極大陸の中身を調べる研究をしています。昭和基地の地震観測は、かれこれ25年も続けています。
また最近、温暖化によって「氷」の地震（氷震や氷河地震）が増えているので、その起こる様子についても調べています。